

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成27年11月26日 (2015.11.26)

【公開番号】特開2015-19666(P2015-19666A)

【公開日】平成27年2月2日 (2015.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-007

【出願番号】特願2014-147564(P2014-147564)

【国際特許分類】

A 2 3 L 1/05 (2006.01)

A 2 3 L 1/29 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

【F I】

A 2 3 L 1/04

A 2 3 L 1/29

A 6 1 K 47/36

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月7日 (2015.10.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

図面の簡単な説明

【図 1】図 1 は本件のバッチ凝集プロセスを示す。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 5】

【表 1】

表 1

デンプン			ガム		粘度 (cP)	濁度 (NTU)
源	変性	凝集	源	コメント		
ワキシーコーン	なし	なし	キサンタン	標準	802	>1000
ワキシーコーン	なし	なし	キサンタン	清澄	808	>1000
ワキシーポテト	なし	なし	キサンタン	標準	946	130
ワキシーポテト	なし	なし	キサンタン	清澄	1073	73
ワキシーポテト	なし	なし	CMC	標準	805	76
ワキシーポテト	なし	なし	グアー	標準	860	359
ワキシーポテト	なし	あり	キサンタン	清澄	1723	293
ポテト	あり	なし	キサンタン	清澄	2523	>1000

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0057

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0057】

粘度曲線は凝集プロトタイプ及び市販のデンプンベース及びキサンタンガムベースの増粘剤に関して作製した。図2は例1（キサンタンガム：ワキシーポテト：マルトデキストリン17.3：19.3：63.4）及び2つの市販増粘剤の濃度の関数としての粘度を示す。図2において分かるとおり、凝集プロトタイプは濃度の増加にともなう、粘度の変化がより小さいことを示し、誤用条件下で、より大きな用量融通性があることを示唆し、すなわち、過剰投与又は過少投与が起こったときに、望ましい粘度でなくなる可能性が低いことを示唆している。凝集組成物の粒子サイズの分布を表2に示す。凝集組成物のバルク密度は0.25～0.30g/cm³であった。

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】削除

【補正の内容】